

2015年度「研究部会活動記録」

現代政治経済研究所

部会主任名	砂岡和子	研究部会名	「日本の対外発信」部会
研究課題： 国際対外発信の社会言語学的分析			
月/日	活 動 記 録		
2015年6月18日（木）	第1回公開研究会：「いま平和とは」最上敏樹氏（早稲田大学政治経済学術院教授） 総合司会：砂岡和子（同政治経済学術院教授） 政経総合基礎演習64組学生全員、参加者約20名 研究叢書出版編集委員会開催、以後2016年3月まで、月3回ペースで開催。		
2015年7月13日（月）	第2回公開研究会：講師：加藤青延氏（NHK解説委員、本部会研究員）、コメンテーター陳汝東氏（北京大学教授） 司会：中川凌（早稲田大学政治経済学部一年）		
2016年3月10日（木）	過去3年間にわたる連続研究会の成果を現代政治経済研究所研究叢書として上梓。 『日本発多言語国際情報発信の現状と課題ーヒューマンリソースとグローバルコミュニケーションのゆくえ』”Voices from Japan in a Multilingual World: Prospects for Fostering Human Resources and Global Communication” 朝日出版社		
2016年3月23日（水）	第3回公開研究会兼叢書出版記念座談会「国際社会との協調に果たす学界の役割」 講師：堀晋也（本学教育・総合科学学術院助手、本部会研究員）、生駒美喜（本学政治経済学術院教授）、新倉真矢子（上智大学外国語学部教授）、正木晶子（上智大学言語教育研究センター准教授）、伊藤英人（東京大学非常勤講師）、星野真（本学政治経済学術院助教）、加藤青延（NHK解説委員、本部会研究員） Moderator：室井禎之＋砂岡和子（本学政治経済学術院教授） 以上本年度は計3回の日本の人文系外国語教育・地域研究の学会活動に関する公開講演会&研究会を開催した。以下5本を WINPEC Working Paper Series として公開中である。 No. J1503 加藤青延 『国際社会の信頼構築におけるメディアの責任～ジャーナリストの役割と限界～』 （2015年） No. J1502 平井和之 『中国語教育学会の国際交流と国際発信』 （2015年） No. J1501 和田博文 『日本文学における日仏共同研究の可能性』 （2015年） No. E1521 Sunaoka Kazuko” Conversion from promotion for overseas study to learning in campus with a co-educational environment” （2016年） No. E1520 Osamu Yoshie and LeWang” Building hub for global human resource development and lessons learned from it” （2016年）		
来年度の活動計画	継続して人文系学会の国際発信活動に関する連続講演を企画すると同時に、情報系学会や報道界の多言語発信と外国語資源開発戦略について知見を広め、学際的な共同研究の場を設ける。並行して本学もしくは本研究所の出版助成を得て、『外国語教育のシステム化と教室運営』（仮題）の上梓を目指す。		
終了の場合	研究成果刊行の時期： 2017年3月（予定） 研究成果の公開方法： 単行本による出版（早稲田学術双書、もしくは朝日出版社予定）		